

(ご家庭へ持ち帰ってみんなで読みましょう)

第191回組合会のご報告

平成24年7月17日(火)に「第191回組合会」が開催され、平成23年度の決算と事業報告が承認されました。

■ 健康保険組合の財政状況について

平成24年度の全国の健康保険組合の予算によると、合計で5,700億円を超える赤字となり、平成20年度から5年連続の赤字で、かつてない厳しい財政状況に陥っています。

現在、健康保険組合の財政が窮状を強いられているのは、平成20年度の医療制度改革において、高齢者医療を支えるために、過度の負担を国が健康保険組合に求めたため、その結果、国に納める納付金・支援金等は、健康保険料収入の5割近くまで膨れ上がってきました。

また高齢化が進む中、医療費が増大していくのは避けられず、健康保険組合の負担は大きくなる一方です。(医療費は3割(年齢等によっては1割)が自己負担ですが、残りの7割(もしくは9割)は、健康保険組合が支払っています)

当健康保険組合も状況は同様で、平成23年度の収支は約1億4千万円の赤字となり、平成21年度から3年連続の赤字となりました。

健康保険組合の財政健全化につまみしては、医療費の抑制が大きな課題です。これは組合員の皆さまのご協力なくして実現できません。皆さまが健康であることが、結果的に医療費の削減へとつながっていきます。そのため、当健康保険組合では、常に新しい情報を発信し、疾病予防と健康増進のための保健事業に積極的に取り組んでまいりますので、組合員の皆さまにおかれましても、健康保険組合の事業をご理解いただくとともに、健康の維持・増進にご協力下さいますようお願いいたします。

■ 平成23年度概況 (人数は平成23年度平均)

【健康保険勘定】

(対前年)

- 被保険者数(本人) 4,027人(△10人)
- 被扶養者数(家族) 4,664人(△24人)
- 保険料率 1000分の80
 - 事業主(会社) 1000分の48
 - 被保険者(本人) 1000分の32

【介護保険勘定】

(対前年)

- 第二号被保険者数(本人) 2,199人(+14人)
- 第二号被扶養者数(家族) 1,289人(+14人)
- 保険料率 1000分の16
 - 事業主(会社) 1000分の8
 - 被保険者(本人) 1000分の8

■ 平成23年度収入支出決算について

【健康保険勘定】

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
健康保険料	1,749,648	保険給付費	1,073,471
不足金繰入	141,971	納付金等	771,859
その他	72,615	保健事業費	65,617
		その他	53,287
収入合計	1,964,234	支出合計	1,964,234

【介護保険勘定】

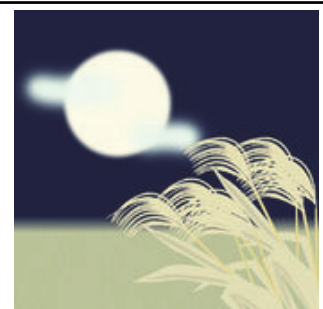
(単位:千円)

収入の部		支出の部	
介護保険料	227,746	介護納付金	193,378
		剰余金	34,368
収入合計	227,746	支出合計	227,746

【財産の保有状況】

(単位:千円)

区分		平成22年度末	増減	平成23年度末
健康保険勘定	法定準備金	454,156	93,029	547,185
	別途積立金	1,586,640	△235,000	1,351,640
	計	2,040,796	△141,971	1,898,825
介護保険勘定	法定準備金	9,432	34,368	43,800



■ 平成 23 年度の主な実施事業

- 疾病予防（受診者数）
 - 半日人間ドック 414 名
 - 共同巡回健診 691 名
 - 胃部検査 1,107 名
 - 血液検査 3,258 名
 - 眼底検査 1,859 名
 - 大腸がん検査 2,347 名
 - 子宮頸がん検査 315 名
 - 乳がん検査 137 名
 - 前立腺がん（血液）検査 796 名
 - 腹囲測定 3,233 名
 - インフルエンザ予防接種補助 4,569 名
 - 家庭用常備薬の配布 3,830 名

- 保健知識の広報・紹介、その他
 - 健保ニュースの発行 8 回発行（インフルエンザ予防接種案内 他）
 - 育児専門誌「赤ちゃん和妈妈」の 1 年間無料購読 61 名
 - ホームページによる各事業等の周知
 - 医療費通知の配布（3 ヶ月ごと）



- 体育奨励・体力づくり
 - 長島ジャンボ海水プール利用補助 428 名
 - 長島湯あみの島利用補助 96 名
 - 旅行補助（海・山） 417 名
 - 健康ウォーク補助 184 名

- 特定健診・特定保健指導
 - 特定健康診査の実施 2,931 名
 - 特定保健指導の実施 69 名

長島湯あみの島

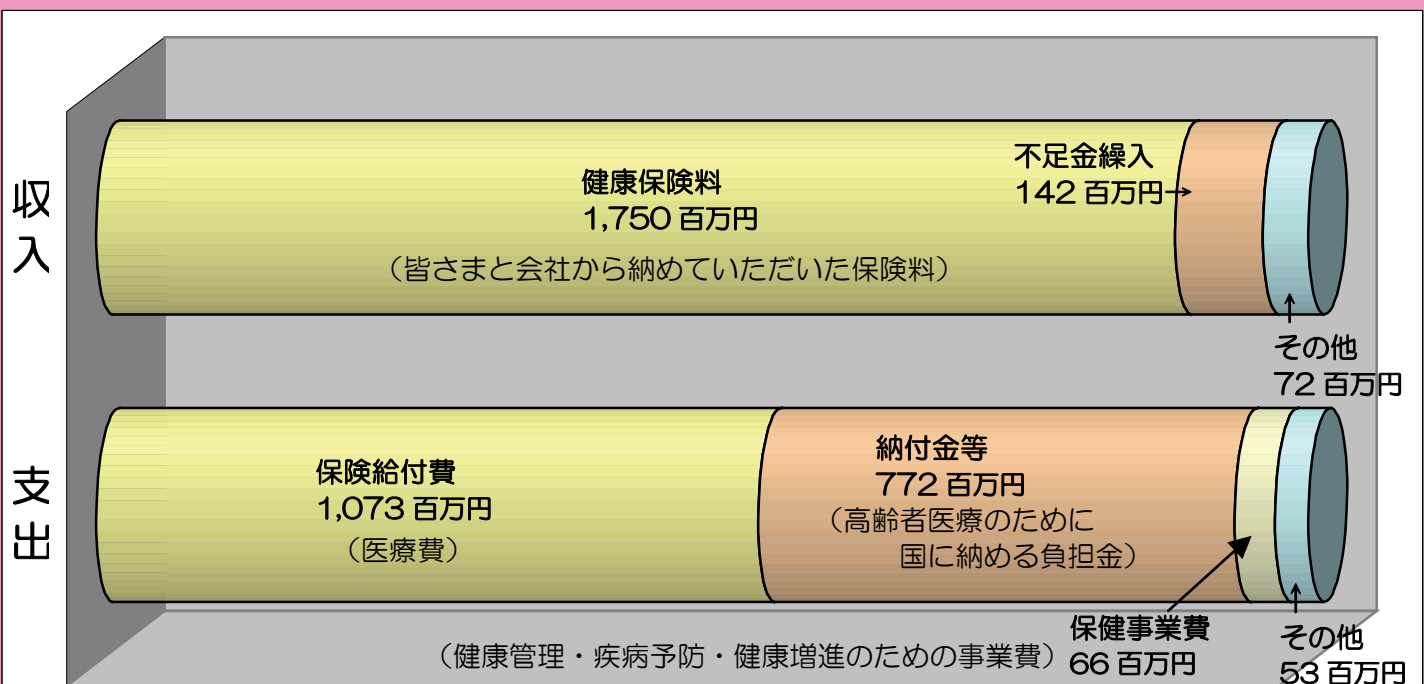


エクスィブ箱根離宮

- 特定健診・特定保健指導は、厚生労働省が健康保険組合に対し、医療費の低減を目的に、メタボリックシンドロームに重点を置いて生活習慣病予防のための健診・指導を実施するよう義務付けたものです。
- 対象者は、40 歳以上の被保険者と被扶養者です。
- 被保険者の特定健診は、事業所（会社）の定期健康診断の受診を特定健診の受診としています。
- 被扶養者については、対象者に案内を出し、特定健診を受診いただいています。

- 契約保養所
 - リゾートトラスト（エクスィブ） 201 組 659 名

【健康保険勘定】の収入と支出



平成24年 秋の健康ウォークご案内

「ごんぎつねの古里と豪華絢爛山車まつり」コース

健保連愛知連合会主催、「秋の健康ウォーク」をご案内します。

開催年月日：平成24年10月6日（土） 小雨決行

受付：半田市 青山記念武道館駐車場 名鉄河和線 青山駅下車徒歩8分

※ 午前8時30分から10時までにオークマ健保の受付までおいでください。

Quoカード（1,000円）と健保連の粗品を贈呈します。

※ 駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



参加料：無料（交通費は各自負担）

持ち物：弁当、飲み物、雨具等（必要に応じ各自）

申込方法：①電話 or メール（事業所名、職場名、被保険者氏名、参加人数、電話番号（内線）をご連絡ください）

②下記の申込書の送付（FAX可） のいずれか

申込締切：9月7日（金）までにオークマ健康保険組合までお申し込みください。

申込担当：オークマ健康保険組合 尾池

電話：0587-95-0913（内線 921-3085） E-mail：c-oike@okuma.co.jp

☆☆コース案内 約8.0km 約2時間10分☆☆

スタート 名鉄河和線 青山駅

受付 青山記念武道館

任坊山公園 （1.9km地点）

半田市立博物館・半田空の科学館（2.2km地点）

新美南吉記念館 （4.6km地点）

矢勝川堤

南吉の生家 （6.3km地点）

ゴール 雁宿ホール （8.0km地点）

知多半田駅（オプション・はんだ山車まつり）

※半田市立博物館は10時閉館です

当日は、「第7回はんだ山車まつり」が開催されます。ゴール後、ご自由にお楽しみください。

健康ウォークのチラシを新美南吉記念館の受付に提示していただくと、割引料金にて入館できます。

●雨天時のご案内は、健保連愛知連合会ホームページでお知らせいたします（午前7時から）。また、電話でもご確認いただくことができます。（052-569-2130）

「健康ウォーク割引きっぷ」を発売（名鉄の駅窓口）

【割引切符の特典】

●名鉄電車運賃1割引

（青山駅までの行き・知多半田駅からの帰り）
6歳以上12歳未満の子供運賃は大人の半額（端数は10円に切上）

●粗品プレゼント券（開催日にゴールで引換え）

9月19日（水）から名鉄の出札係員配置駅窓口において往復割引切符が購入できます。

【FAX：0587-94-3570】（FAXの場合は切り取らずA4で送信ください）

☆☆平成24年 秋の健康ウォーク申込書☆☆

事業所名 _____ 職場名 _____

被保険者氏名 _____ 参加人数 _____ 名 _____

電話番号（内線） _____

家計のためにも 知って得する賢い受診の仕方

普段何気なく支払っている医療費。受診の仕方によっては、無駄を省き、節約できるものも少なくありません。ここではその一例を紹介します。

休日や夜間・早朝の受診はなんとこんなに割高に！

医院、クリニックでの受診は、診療時間内でも18時以降等は割増料金がかかることもあり、同じ診療を受けても受診時間によって医療費が変わってきます。受診時間を変えるなど工夫することで医療費の節約が可能です。

(自己負担額は3割負担の時の金額)

		1:00	8:00	12:00	18:00	24:00
※1 医院・クリニック	平日	加算額 500 円 (自己負担額150円)			加算額500円(自己負担額150円)	
	土曜	加算額 500 円 (自己負担額150円)			加算額 500 円 (自己負担額150円)	
	日/祝	加算額 500 円 (自己負担額150円)				
		1:00	8:00	13:00	19:00	24:00
薬局	平日	加算額 400 円 (自己負担額120円)			加算額 400 円 (自己負担額 120円)	
	土曜	加算額 400 円 (自己負担額120円)			加算額 400 円 (自己負担額120円)	
	日/祝	加算額 400 円 (自己負担額120円)				

また、救急外来受診については、さらに割増料金(※2)がかかるうえ、受けることができる検査や処置、治療が限られてきます。急な病気やケガでない限り、時間外の受診は控えましょう。

- ※1 医院・クリニックとはベッド数が19床以下の医療機関をいい、割増料金(夜間・早朝等加算)がある場合は、その旨掲示されています。
- ※2 通常の治療とは別に、初診時加算額(850円~4,800円)や再診時加算額(650円~4,200円)がかかります。

紹介状なしで大病院にかかったとき

平成25年4月から初診時の自己負担額が引き上げられます！

大病院に軽症患者が集中する状況を改善するため、平成25年4月から、一部の大病院(※)に紹介状なしでかかった場合に、自己負担額が増えることになりました。健康保険が適用される「初診料」が2,700円から2,000円に引き下げられ、引き下げられた分が自己負担額に加算されます。

また、大病院が他の医療機関を紹介したにも関わらず、患者が大病院を再び受診した場合にも、健康保険が適用される「外来診療料」が700円から520円に引き下げられ、引き下げられた分が自己負担額に加算されます。

※一部の大病院とは、大学病院や地域医療の後方支援を担う病院等を指します。

大病院に軽症患者が集中し、こんな問題が・・・

- ・患者が多いため待ち時間が長くなり、逆に診察時間が短くなる。
- ・簡単な手術でも大病院で受けたがる患者が多いため、大病院でしか受けられない手術が数ヶ月待ちになることも。



これからは…

いきなり大病院は× まずはかかりつけ医で受診しましょう

気になる症状があるときには、まずは地域のかかりつけ医で受診しましょう。そこで高度な医療が必要だと判断された場合には、紹介状をもらって大病院で受診しましょう。

紹介状を発行してもらえると、信頼できるかかりつけ医を確保しておくこと安心です。

